レジメン登録フォーマット

申請年月日	令和5年11月28日	使用開始日			
登録診療科	乳腺外科	申請医師	小西宗治	化学療法委員会承認年月	年　月
レジメン名	フェスゴIN【初回】+パクリタキセル(3週1回)**再発**				
疾患名	乳がん	適応の備考	HER2陽性の手術不能又は再発乳がん		
適応分類	進行・再発				
1コース日数	21 日間	総コース数	有効な限り　コース	催吐性リスク	軽度
抗がん剤投与量・投与日	フェスゴIN　day1、パクリタキセル175mg/㎡　day1				

治療スケジュール　・　投 与 日 程 (投 与 日 は ●)　　(day)

投与順	ルート・方法	薬　剤　名	投　与　量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	なし		/																						
	皮下注射	フェスゴ配合皮下注【IN】	15 mL / body		●																				
			/																						
	調製後4時間以内に使用 8分以上かけて皮下投与																								
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	デキサート注6.6mg	2 本 / body	30 分	●																				
		デキサート注1.65mg	2 本 / body		●																				
		ファモチジン注20mg	1 本 / body		●																				
3	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																				
	点滴静注	パクリタキセル注	175 mg / ㎡	3 時間	●																				
			/																						
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																				
	点滴静注		/																						
			/																						
		レスタミンコーワ錠	5 錠 / body		●																				
	経口投与		/																						
			/																						
	パクリタキセル投与の30分前																								

【投与上の注意】
パクリタキセル：前投薬としてレスタミン5錠の内服、デキサート注、ファモチジン20mg静注が必要。
パクリタキセル：DEHPフリー（フィルターつき）点滴セット使用。0.22ミクロン以下のメンブランフィルターを使用し投与すること。
パクリタキセル：アルコール不耐症がないことを確認する。

このレジメンは、フェスゴ（ペルツズマブ、トラスツズマブ）初回投与患者に使用する。（ただし、予定された投与が遅れた場合で、以下の条件にあてはまる場合も使用可）
フェスゴ皮下注：何らかの理由により予定された投与が遅れた場合には、以下のとおり投与することが望ましい。
①前回投与日から6週間未満のとき ： 維持投与量（フェスゴ MA）を投与する。
②前回投与日から6週間以上のときには、改めて初回投与量（フェスゴ IN）を投与し、次回以降は維持投与量（フェスゴ MA）を3週間間隔で投与する。
フェスゴ皮下注：初回投与時は、8分以上かけて大腿部に皮下投与、 2回目以降は、5分以上かけて大腿部に皮下投与する。
フェスゴ皮下注：大腿部以外への投与は避ける。
フェスゴ皮下注：注射部位反応が報告されているため、同一箇所へ繰り返し注射することは避け、左右の大腿部に交互に投与する等、前回の注射部位から少なくとも2.5cm離す。
フェスゴ皮下注：皮膚が敏感な部位、皮膚に異常のある部位（傷、発疹、発赤、硬結等）には注射しないこと。
フェスゴ皮下注：初回投与時は30分の経過観察、2サイクル目以降は、Infusion reaction等の問題がなく、忍容性が良好であれば、観察時間は15分まで短縮可

・パージェタ+トラスツズマブ(IV)からフェスゴに切り替える場合
パージェタ+トラスツズマブ（IV）の直近の投与日から6週間未満のときにはフェスゴMA（維持投与量）を、6週間以上のときにはフェスゴIN（初回投与量）を投与し、
その後は3週間毎にMA（維持投与量）を投与する。

・フェスゴからパージェタ+トラスツズマブ(IV)に切り替える場合
フェスゴの直近の投与日から6週間未満のときにはパージェタ、トラスツズマブともに維持投与量（パージェタ：420mg、トラスツズマブ：6mg/kg）を、
6週間以上のときにはパージェタ、トラスツズマブともに初回投与量（パージェタ：840mg、トラスツズマブ：8mg/kg）を投与し、その後3週間毎に維持投与量を投与する。